

## カラミ織りのモアレ効果を活かしたインテリア製品

(株)織工房 風美舎 (福井市)

平成 20 年度 優れた技術づくり共同研究事業

問合せ先 山本一恵、デザイン推進室

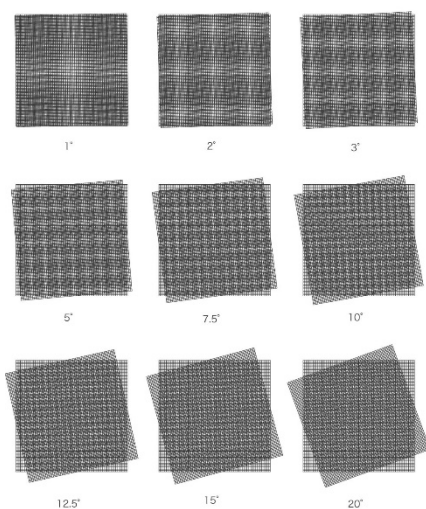


### 背景と経緯

(株)織工房 風美舎は、伝統的なカラミ織り技術をベースに、僧侶の袈裟などの黒染め製品を主体に生産を行っていました。カラミ織り特有のメッシュ組織を重ね合わせると、波状のモアレ模様が鮮明に発現しやすいことに注目していた風美舎は、「自然発生的で再現が難しいモアレをコントロールし、多様なバリエーションを展開したい」という技術課題を抱えていました。そこで、福井県工業技術センターとの共同研究制度を活用して、モアレ発現の条件（織り組織、相対角度による模様の変化、配色効果による鮮明度等）について研究し、コンピュータシミュレーションとそのデータを元にした織物の測定によって、任意のモアレ模様を発現させる技術を確立しました。

### 成果と製品化の状況

この技術開発（共同特許取得）によって、カラミ織りの模様の多彩なバリエーション展開が可能となりました。現在、風美舎では、照明専門メーカー等と連携をとった製品試作に取り組みながら、従来の顧客であった和装業界だけでなく、建築インテリア分野への市場開拓を進めています。



相対角度によるモアレ効果のシミュレーション例



マシンプリーツ加工によるカラミ織りの模様とカラーバリエーション例



カラミ織りを活かした照明器具：光の透射で浮かび上がる紗のゆらぎが新しい癒しの空間を演出する